



Farmers Field School (FFS)およびメンバーシッププログラム支援を継続

成果1: 栽培技術

1. FFS 2020/2021 ワークショップ

マリアナIにおいて4月13日と30日に農業普及員と共に、収穫と収穫後処理に関する第5回目のワークショップを実施した。参加農家の主な関心事項は、病害虫防除であった。この時期、多くの農家の稲は登熟期を迎えており、カメムシやウンカなどの害虫による被害を懸念している。ブルトでは、ロックダウン措置のため、農家を集めてのワークショップを4月には実施できなかった。



<マリアナIでの第5回ワークショップ>

2. FFS農家のモニタリングとサポート

マリアナIとブルトの両プロジェクトサイトにおいて、播種後80日目の生育調査がほぼ終了した。マリアナIでは、4月4日に発生したサイクロンが潤沢な水量をもたらし、また、その後晴天が続いたため、順調な生育および収穫が見込めている。ブルトでは、圃場において日頃より関心を持ち頻りに稲の栽培を管理することが、稲の分けつ茎数や高さの良好な生育に繋がることが観察された。



<よく管理されたブルト(ラレイア地区)のあるリード農家の稲>

3. 収量調査

マリアナIでは、4月中旬より収穫が始まり、昨年と比較して好調な収量を示している。収量調査の結果は、来月以降に発表予定。

成果3: 物流と販売(民間)

1. チャクブ農家組合メンバーシップ

チャクブ組合が4月20日にグループリーダー会議を開催することを支援した。会議での話し合いの結果、チャクブ組合は5月上旬から籾の買取りを開始することを決定した。



<グループリーダー会議>

2. アセルダ社メンバーシップ

2名のプロジェクトスタッフは、メンバーシップ農家の栽培をモニタリングすると共に、アセルダ社がメンバーシップ農家に用意した農薬を農家に配布することを支援した。



<プロジェクトスタッフによるモニタリング>

3. サイクロン被災者へ国産農産品を提供

農業省(MAF)アグロコマース局とプロジェクトは、4月4日のサイクロンによる洪水被害を受けた合計140世帯に、プロジェクトが運営支援しているファーマーズマーケットで販売されている国産農産品を提供した。支援農産品は、国産米1,400kgおよびマメ類840kgである。



<支援農産品の運搬>

成果4: 買取と配布(政府)

1. National Logistic Center (NLC) によるコメ買取り準備

NLCのマリアナスタッフは、新説明書および標準操作手順(SOP)バージョン1に基づき、新農家グループの銀行口座開設を支援した。NLCにより買取られたコメは、銀行振り込みにより農家グループに支払われるため、NLCに販売する農家グループは、銀行口座を保持している必要がある。

通常NLCは、コメ買取りの前に、コメ販売を希望する農家にコメ袋を配布しているが、現時点でコメ袋が十分に無い状態である。NLCのマリアナ倉庫に、昨年の余剰のコメ袋25トン分がまだ残っていたため、まずこの内10トン分を希望する農家に配布した。



<コメ袋を受け取りに来た農家>

2. コメタスクフォース設立

プロジェクトはコメタスクフォースの再立上げに向けたスケジュールを作成し、MAF関係者とコメタスクフォースの再立上げを進めていくための会議を行った。

来月の主な活動予定

成果1:
FFSワークショップおよび収量調査。

成果2:
水利組合(WUA)の水利費徴収準備を支援。

成果3:
両メンバーシッププログラムを継続支援。

成果4:
NLCに籾を販売する農家グループの銀行口座開設を支援。